



4月、がん検診が変わりました 肺がん早期発見に「ヘリカルCT」検診スタート!

4月、がん検診の内容が変わりました。新たに50歳以上の方を対象に「ヘリカルCT」検診が始まりました。がん死亡率トップ・肺がん初期の小さな早期がん発見に有効といわれる検査です。肺がんに不安をお持ちの方、特にたばこを吸っている方に「お勧め」の検診。がん検診、特定健診を受けたことのない方は、ぜひ検診（健診）を受け、日ごろの健康に自信をつけましょう。

「ヘリカル」は「らせん」を意味します。皆さん、CT検査はよくご存知ですね。丸いドームのような装置に横になり、15秒間くらい息を止めている間に、機械が胸部の周囲をらせん状に回って撮影します。

これまでの胸部X線診断に比べて、肺がん初期の小さな早期がん発見に有効といわれています。

1995（平成7）年、東京・国立がんセンターで世界に先駆けて導入され、1センチ以下の小さながんが発見されました（X線診断は3センチ以上でないが発見しづらい）。発見されたがんの90%が第1期の初期のがんであった、という報告があり、その後各医療機関や自治体で導入されるようになりました。すりガラス状に見えるごく初期のがんでも見つけることができます。

ただし、胸部X線写真と比べて○

放射線被曝量が多くなる（胃、バリウム検査と同等レベル）○高価である

○心臓ペースメーカーの方は受けられない○国レベルではまだ有効な検診であるとの所見が出ていない○任意検診のため同意書が必要などのデメリットもあります。

喫煙、受動喫煙の影響が気になつたらヘリカルCT検診

最も肺がんリスクが高い要因はたばこです。次の方はヘリカルCT検診をお勧めします（この検診の対象者は50歳以上です）。

- たばこを吸う（特に「1日の本数×喫煙年数」600）を超える方
- 身近な人がたばこを吸うなど受動喫煙が気になる
- 遺伝歴がある
- 空気の悪い職場で働いた経験がある

る

この検診を受けた方は、胸部X線検診を受ける必要はありません。

町の各がん検診助成は年に1回です。集団検診等で肺がん検診（胸部X線検査）を受けてしまった後、ヘリカルCT検診を受けたいと希望しても町助成では受診できませんのでご注意ください。受けられる検診機関は旭川がん検診センターだけです。検診内容が変わりましたので、計画を立てて受診してください。

その他のがん検診は30歳以上から

肺がん検診（胸部X線検査）、胃がん検診、大腸がん検診、乳がん検診は、本年度から30歳以上の方が対象です（子宮がん検診は、これまでどおり20歳以上です）。

乳がん検診は、若年者は乳腺組織

が豊富でマンモグラフィ（乳腺X線検査）では判別しづらいことがあるため、超音波検査をお勧めする場合があります。この場合、別途料金がかかります。

旭川がん検診センターでは、随時個別にがん検診を受け付けています。直接申し込んでください。受診時に「がん検診受診券」が必要です。町にも必ずご連絡をお願いします。

〔本年度集団検診の日程〕

- ①東川町保健福祉センター会場（検診機関：旭川厚生病院）
前期 6月25日（木）～7月1日（水）の5日間
後期 11月19日（木）～11月24日（火）の3日間
- ②旭川がん検診センター会場（バス送迎健診）
前期 6月17日（水）、7月10日（金）
後期 11月12日（木）、12月10日（木）

※特定健診と一緒に受診可能です。詳細は改めてお知らせします。